

討議事項：玄葉外務大臣演説「NGO との連携強化」のフォローアップ

(特活) 国際協力 NGO センター (JANIC)

調査・提言グループマネージャー 水澤恵

【議題案題目】玄葉外務大臣演説「NGO との連携強化」のフォローアップ

- (1) 国際協力 NGO への募金支援キャンペーンについて
- (2) 日本 NGO 連携無償資金協力 (N 連) について
- (3) JICA 草の根技術協力事業(JICA 草の根)について

【議題提案の背景】

2012 年 2 月 28 日、政策研究大学院大学において、玄葉外務大臣が「我が国のグローバルな課題への取り組み～フルキャスト・ディプロマシーの展開と協力フロンティアの拡大」の演説を行った。その演説の「NGO との連携強化」の (1) 国際協力 NGO への募金支援キャンペーンについて、(2) N 連について、(3) JICA 草の根についてフォローアップを行いたく、議題提案を行いたい。

【議題論点】

- (1) 国際協力 NGO への募金支援キャンペーンについて

大臣スピーチで「JICA・NGO と連携して『国際協力 NGO への募金支援キャンペーン』を展開したい」と述べられている。

NGO としては、市民や社会全体からの NGO への支援を増やすためには、日本の NGO は信頼できると認識され、その活動がもっと市民の目に触れることが必要と考えている。そのために、外務省は自ら持つ広報ツールやネットワークを活用して、NGO が信頼できる組織であることと、NGO が途上国を中心とした国際協力の現場で活躍している様子を広報し、国際協力 NGO を支援するための募金を呼びかけていただくことを期待している。具体的には以下のような活動の可能性について、意見交換を行いたい。

- ① 目的：国際協力における NGO の重要な役割に鑑み、市民による NGO への支持・支援（寄付）を増加していくことに、外務省と NGO が協働する。具体的には NGO 自身の自己資金獲得力向上のための助走を支援する活動を短期的、長期的観点から行う。
- ② 期間：キャンペーンの効果が表れるまでには一定の時間が必要なため、中期的な期間を設定する。期間の案として、達成目標 2020 年、中間目標 2015 年。(2020 年の理由は政府の国家再生戦略の時期考慮)。数値目標は、今後検討する。

取組案：以下は募金支援キャンペーンの取組案であるが、具体化に向けては地方ネットワークを含めて NGO 側で内容を詰めたのち、外務省に提案する。・広報ツールの作成

- ・外務省のウェブサイトでの、NGO 募金キャンペーン専用サイトの開設
- ・「NGO 広報大使」の選任（外務省が広報協力で採用する著名人の方に協力依頼する）
- ・テレビ番組の広報
- ・既存の NGO キャンペーンとの連携（Stand Up Take Action、NGO つながりキャンペーンほか）
- ・国際協力イベントでの広報（グローバル・フェスタ、ワールド・コラボ・フェスタ、ワン・ワールド・フェスタなどの機会を利用）
- ・なんプロの活用
- ・市民と NGO をつなぐ橋渡し役としてのネットワーク NGO の強化
- ・その他、NGO 支援者拡大につながる広報活動

（２）NGO 連携無償について

2011 年度の連携推進委員会では、NGO 連携無償について予算面及びスキームの改善について議論を重ねてきた。大臣スピーチで「NGO の管理運営費への支出を大幅に拡大する」と述べられていること、また 2011 年度第 3 回連携推進委員会の討議事項「日本 NGO 連携無償資金協力について」の議論を踏まえ、以下の件について伺いたい。

①N 連の重点分野について

2012 年度は大幅に拡充する方向で検討中と伺っていたが、検討状況を伺いたい。

②N 連の予算配分について

2012 年度は 5 億円の増額が実現し、総額 55 億円となったが、今年度の N 連の予算配分の見込みについて伺いたい。（重点分野と一般の N 連の割合、JPF との割合、新規案件と既存案件の割合など）

③管理費の拡大について

N 連の管理費については、昨年度と同様に現在、重点分野枠において 5%の管理費が認められているが、一般の N 連では認められていない。また直接事業費の 5%のみ計上となっており、案件によっては少額しか認められないケースもある。については管理費拡大の検討状況について伺いたい。

上記の検討状況を事前会合で伺ったうえで、本会合では N 連の予算及びスキームの改善について、意見交換をしたい。

（３）JICA 草の根技術協力事業(JICA 草の根)について

JICA 草の根の昨年度の実績は約 21 億円と聞いているが、昨年度からの継続案件等の実績額等を鑑みると、今年度の予算は非常に厳しいことがうかがえる。大臣スピーチで言及いただいたとおり N 連については増額が実現している一方で、JICA 草の根については増額がなされていない。とりわけ、先述の理由により今年度の新規案件の予算が限られてしまう懸念がある。今年度の予算については N 連同様に増額を、増額が困難な場合は少なくとも昨年度並みの予算の計上をお願いしたい。また来年度以降の予算については、NGO の実施能力に応じた増額をお願いしたい。